

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安心な山辺づくり事業
事業主体 (連絡先)	里山辺地区農業再生協議会 松本市里山辺 2615-1
事業区分	(1) 地域協働の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,717,440 円 (うち支援金: 1,288,000 円)

事業内容

近年、全国的に高級果実の盗難が多発する中、松本警察署の協力を得る中、山辺地域全体で「地域ぐるみ」の盗難防止対策を行い、果樹農家を含めた地域住民全体で犯罪抑止力を高め、安全・安心な地域づくりにつなげる取組みを実施。

1) J A青年部と地域住民によるパトロール、啓発活動の実施「パトロール: 8月~10月に月4回以上、防犯啓発チラシ配布、入山辺、里山辺地区内 29 常会 700 枚回覧 (9月)、J A農家組合組織 109 班回覧 2 回 (8月・9月) J A管内組合員、生産部会員への配布合計 3,502 枚」

2) 防犯設備の整備

- ・立て看板設置 (50 箇所) 大立て看板 (2 箇所)
- ・防犯カメラ、設置表示プレート設置 (30 箇所)

事業効果

①生産組織等における会議、集会等における情報発信の実施、共有がなされた。

②ぶどう盗難被害報告件数の減少

1 件/R 2 年度 5 件 (前年比 80%減少)

③園地、収穫物の保管場所等への施錠徹底がなされ盗難の未然防止がなされた。

今後の取り組み

・本年度の事業効果について、果樹農家の集まる会議、集会等で報告を行い今後の取り組みについての要望、提案等について意見集約を行い今後の対策に役立てる。

・次年度に向け、防犯設備の設置場所、看板の設置場所についても、より効果が期待できる対応を専門家 (警察関係) 等からのアドバイスをいただき防犯対策を展開していきたい。

又、活動を継続させるために、引き続き松本警察署、町会連合会、生産部会、J A青年部との連携を図り地域住民全体での犯罪抑止力を高め、安全で安心な地域づくりに貢献できる取組みを行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【防犯カメラ設置風景】

【目標・ねらい】

- ①地域住民全体での犯罪抑止力の意識向上
- ②果樹盗難事件の減少、撲滅
- ③農家自身の盗難防止対策の整備

※自己評価 【A】

【理由】

・令和3年度事業実施管内における、ぶどう盗難被害報告件数 (事務局への報告) 1 件/令和2年度 5 件であり、前年比 80%減少。